

第6回太平洋・島サミットで日本が約束した支援の実施状況

最大5億米ドルの支援

平成25年10月26日
外務省

過去1.5年間で、日本は第6回太平洋・島サミットでコミットした金額の**ほぼ9割**にあたる約4.45億米ドルの支援を実施。

4.45 億米ドル 

1. **有償・無償** : 約 **3.29 億米ドル**
2. **技術協力** : 約 **0.67 億米ドル**
3. **関係府省及び関連国際機関等を通じた援助** : 約 **0.49 億米ドル**

協力の5本柱：日本による主要な取組実績

1. 自然災害への対応

- ◆ 自然災害(地震, 津波, 台風等)への対応力強化に向け, 日本の経験や技術を活かした支援を実施。
 - **地震, 津波等の観測能力強化**のための資機材支援。
 - コミュニティにおける防災啓発計画の策定や避難訓練等を支援する**防災能力強化**プロジェクトの実施。
 - 「**キズナプロジェクト**」を通じ**303名**の若者を東北に招聘し, 東日本大震災で得られた教訓を共有。

2. 環境・気候変動

- ◆ 気候変動の緩和と適応のための支援, 自然環境保全や環境の持続可能性確保に向けた支援を実施
 - 太陽光発電施設などの再生可能エネルギーの導入における, 安定的な電力供給を維持するための**マイクログリッドシステム**の導入。
 - **3R (Reduce, Reuse, Recycle) の促進**等を支援する廃棄物管理改善支援プロジェクト (J-PRISM)を実施。
 - 天候不順に伴う渇水対策として, **海水淡水化装置等の燃料調達**に係る支援を実施。

3. 持続可能な開発と人間の安全保障

- ◆ 持続可能な開発及び人間の安全保障を促進する観点から、継続的、かつ、重点的な協力を実施。
 - 経済活動や社会生活の基盤となる良質なインフラの整備：港湾整備，改善，輸送船供与。
 - 効率的かつ安定的な電力供給の整備，沖縄の知見を活かした水道事業運営（宮古島モデル）。
 - 医療水準向上：医療施設の整備，フィリア感染症撲滅のための同感染症対策医療特別機材の整備。
 - 教育水準向上：南太平洋大学ICT能力構築計画の実施。教育や保健分野を中心としたきめ細かな協力として，草の根・人間の安全保障無償資金協力を104件実施。

4. 人的交流

- ◆ 人的交流，特に将来を担う若者による交流を再活性化。
 - ジェネシス2.0を開始し，過去半年間で太平洋島嶼地域から305名の参加者を日本へ招聘。
 - 開発政策アドバイザーや援助調整アドバイザーを含む専門家とボランティアを200名以上派遣。同時に，621名の研修員を受け入れた。
- ◆ 日本と太平洋島嶼国との防衛当局間協力
 - 防衛省及び自衛隊は，パシフィック・パートナーシップ2013に参加し，トンガとPNGを訪問。

5. 海洋問題

- ◆ 海洋における秩序を維持するため，「法の支配」の考え方を推進。